

目 次

序 文	石井 紫郎	i
-----------	-------------	---

序 章 共同研究の組織と研究の経過	石井紫郎・宇野隆夫・赤澤 威	1
-------------------------	----------------------	---

第一部 弓矢の人文・社会学的研究

道具の進化の見方,考え方	赤澤 威	7
— 旧石器時代における狩猟を中心にして —		
東アジアにおける武器の画期	宇野 隆夫	37
下宅部遺跡の縄文弓	千葉 敏朗	53
— 狩猟儀礼に用いられた弓 —		
日本列島における先史・古代武器の進化と退化	松木 武彦	67
弥生の矢について	深澤 芳樹	85
東アジアの弩と出雲市姫原西遺跡出土の弩形木製品	足立克己・藤田 丈・松本岩雄・三宅博士	101
狩猟具としての弩弓	野林 厚志	117
— 雲南怒族の弩弓製作とその射技 —		

第二部 弓矢の工学的研究

弓矢の実験考古学的研究の歩み	佐々木憲一	131
弓材としての樹木について	山本 博一	141
復元弓の工学実験	中島尚正・笠原智治	153
現代弓と復元弓への力学的, 生体工学的アプローチ	細谷 聡	193
復元弓の弦音の分析	山田 奨治	207

第三部 弓矢復元と研究成果の公開展示

弓矢復元	219
研究成果の公開展示	227

終 章 結論	石井紫郎・宇野隆夫・赤澤 威	291
--------------	----------------------	-----